

事業名		事業内容
I	2) 緑町宿舎 (家族用)	<p>所在地 千葉市稲毛区緑町1丁目19番11号</p> <p>入居者 留学生とその家族</p> <p>入居期間 原則として1年</p> <p>入居経費 入居料 部屋代の1か月分 部屋代 月額 36,000円</p> <p>部屋の広さ 2DK 47～54㎡</p> <p>入居人員 中国(内モンゴル)1世帯、 モンゴル1世帯の全2世帯</p> <p>*入居料は退去時の清掃や破損部分修理費に当てられる。</p> <p>入居者の交流事業 毎年実施していた会館OBOG会ならびに奨学生との交流会は、 全て中止となった。</p>

事業名	事業内容																																															
<p>II</p> <p>留学生 奨学金支給事業</p> <p>1、支給対象者</p> <p>2、支給額</p> <p>3、支給人員</p> <p>4、支給総額</p>	<p>大学(除く短期大学)の学部生、大学院生のほか、財団が特に認めた者。それぞれ次の条件に該当する。</p> <p>1) 私費外国人留学生 2) 千葉県内の大学に在籍する者。 または県外の大学に在籍し、千葉県内に居住する者。 3) 他の財団等から年額600,000円を超える奨学金等を受けていない者。</p> <p>月額 80,000円</p> <p>15名(12ヶ月) { 13名12ヶ月の支給 2名6ヶ月の支給</p> <p style="text-align: center;">国籍別支給人員</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">国籍</th> <th rowspan="2">人数</th> <th colspan="2">性別</th> </tr> <tr> <th>男</th> <th>女</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>中国</td><td>9</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>2</td><td>韓国</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>3</td><td>台湾</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>4</td><td>モンゴル</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>5</td><td>ベトナム</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>6</td><td>インドネシア</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>7</td><td>ネパール</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>15</td><td>8</td><td>7</td></tr> </tbody> </table> <p>県内大学 5校 県外大学 1校</p> <p>13,440,000円</p> <p>奨学生の交流事業</p> <p>例年であれば奨学生の例会は2月と8月を除く毎月実施していたが、今年は財団本部での実施が4回、オンラインでの実施が4回となり、内容も今までのような飲食を伴うものではなく、換気を行い、マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保ったうえでレクリエーションを行うという、新たな形での実施となった。奨学生同士が親交を深め合う房総一泊旅行も中止となったことは残念だったが、それでも学生は日々のオンラインコミュニケーションに疲れており、数少ない対面での交流の機会をととても喜んでくれている様子だった。</p> <p>なお、2月に実施した次年度奨学生の選考会については緊急事態宣言の発令下であったため、選考委員の先生方にお越しいただくことなく、代表理事と専務理事のみで選考を行った。</p>		国籍	人数	性別		男	女	1	中国	9	4	5	2	韓国	1	1	0	3	台湾	1	1	0	4	モンゴル	1	0	1	5	ベトナム	1	0	1	6	インドネシア	1	1	0	7	ネパール	1	1	0	計		15	8	7
	国籍				人数	性別																																										
		男	女																																													
1	中国	9	4	5																																												
2	韓国	1	1	0																																												
3	台湾	1	1	0																																												
4	モンゴル	1	0	1																																												
5	ベトナム	1	0	1																																												
6	インドネシア	1	1	0																																												
7	ネパール	1	1	0																																												
計		15	8	7																																												

事業名		事業内容
III	外国及びわが国の学生青年の国際交流事業	国際交流事業 日本語教室については、感染対策のため令和2年度は実施しなかった。また希望学生による広島旅行や、12月の年忘れパーティーも全て中止となった。
IV	機関紙の発行	機関紙「OSFだより」の発行 / ホームページ公開 部数 年4回発行 1回440部 内容 留学生に対する諸情報の提供、財団の近況、留学生紹介等 配付先 財団役員ほか関係者、関係団体、県内各大学 財団現役生、OB、その他留学生、ボランティア ※コロナ流行に伴い国際郵便が届きにくくなっているため、海外への発送は現在停止している。
V	その他の活動	役員会 令和2年度の全役員会(理事会3回、監査会1回、評議員会1回)は残念ながら、すべて書面での開催となった。 財団本部 財団本部での日常業務は、こまめな換気、マスクの着用、手指の消毒の励行など、基本的な感染対策を行ったうえで、10時から15時までの時短営業を実施した。来客は事前にアポイントメントを取るよう依頼し、不特定多数の出入りを可能な限り制限した。 なお1回目の緊急事態宣言下では本部を閉鎖し、可能な限りテレワークにて業務を遂行した。事業を維持するための最低限の出勤は、いずれかのスタッフ1名が短時間で行った。2回目の緊急事態宣言の際はスタッフが輪番で出勤し、不要不急の来客を制限した。 関係団体との交流 JISSA(留学生団体連絡協議会): 2020年度は活動を停止。総会や分科会も全て中止となった。 留団協(日本留学生宿舍財団法人協議会): 6月、9月、12月、2月にそれぞれオンラインにて会議実施。
VI	収益事業(不動産の賃貸)	活動に必要な資金を補うために、OSFビル3階部分の3部屋を賃貸。